

現代社会の特色

# 現代社会を捉える枠組み B

🕒 7分

1. 次の資料を読んで、あとの問いに答えなさい。

資料Ⅰ

第2条 この法律は、( )を旨として、  
解釈しなければならない。

第752条 夫婦は同居し、互いに協力し扶  
助しなければならない。

資料Ⅱ

第10条 事業主は、労働者が育児休業申出をし、又は育児休業をし  
たことを理由として、当該労働者に対して解雇その他不利益な  
取扱いをしてはならない。

第12条① 事業主は、労働者からの介護休業申出があったときは、  
当該介護休業申出を拒むことができない。

(1) 資料Ⅰは、民法という法律の一部である。資料中の( )にあてはまる、日本国憲法第24条②にも登場する文を次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 家制度の尊重と性的な役割分担      イ 個人の尊厳と両性の本質的平等
- ウ 多文化の尊重と内なる国際化      エ 経済成長と情報社会の推進

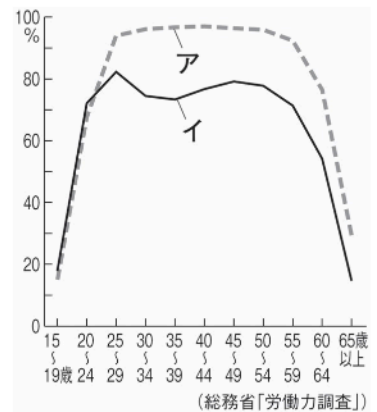
[1]

(2) 資料Ⅱについて、次の問いに答えなさい。

① この法律の名を答えなさい。

[2]

② このような法律が制定された背景として、日本の社会で女性が置かれている状況に問題があることがあげられる。これに関して、日本における女性の年齢別の働く割合を正しく示したグラフは、右の図のア・イのどちらか、記号で答えなさい。



[3]

(3) 人間は、法律などのルールに従いながら社会集団に属することではじめて、充実した人生が送れる。そのことから、人間はどのような存在であると表現されているか。

存在 [4]